



学校だより

7月号 第405号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

多くの人に支えられて

校長 金森 孝子

【まってきました！給食】

7月1日から、全横浜市立小学校において一斉に学校再開第三期となり、令和2年度の給食が始まりました。子どもたちの「給食が楽しみ」という声も多く聞こえてくる中、この日を迎えるにあたって、ソーシャルディスタンスなど新しい生活様式を守りながら、どのような「山田小の新たな給食スタイル」を組み立てていったらよいのかと、調理員、栄養職員を交えて協議を繰り返しました。そして調理員をはじめ担当者はできる限りの準備を2週間以上も前から行っていました。

開始当日、月曜日のテレビ朝会を水曜日に替えて、給食指導を全校一斉に行いました。給食担当教員が準備、配膳、給食当番の配膳などについて、ポイントを示して説明したところ、どの子どもも真剣な眼差しで、その内容を理解しようとしていました。そして、、、初めての給食となる1年生の様子を見に行くと、「今まででいちばんおいしい!」「もう、全部食べた」「ほんと、おいしい!」思わず出てしまう言葉に、私もうなずいてしまいました。今回、感心したことは、どの学年も、きまりをしっかり守って準備、配膳、落ち着いて給食をとっていたことです。高学年の教室をのぞくと、箸や食器の音しか聞こえないという静かな中での給食。「給食の新たな生活様式」に意識を集中した結果、どの学年も安全に早く、そして味わいながら給食をとることができました。



【ありがとうございます。しっかり手洗います!】

学校再開後の6月、例年3年生の学習でお世話になっている企業の方が、「子どもたちの感染拡大防止に役立てください」と自動泡式ソープディスペンサー25台と詰め替え用ソープ、乾電池、非接触型温度計10台を、直接学校に届けてくださいました。「このコロナの状況下、いつも見学に来てくれる子どもたちのため、力になりたいのです。毎年、子どもたちの笑顔からエネルギーをもらっているのです、、、」と。「一般社団法人 横浜もの・まち・ひとつづくり」代表理事、男澤さん（株式会社スリーハイ）が中心になってプロジェクトを進め、「東山田準工業地域をまもる会」「美里橋サークル」等の17の企業の方々が、本校と東山田小2校にご支援くださいました。本当にありがたいことです。

学校では、感染拡大防止の要として、朝の校舎に入る前の「健康観察」、授業と授業の間5分間の「手洗い」に力を入れています。短時間で体温を再確認するときに、非接触型温度計は大変便利です。また、手洗いで、洗面の密接を避けるため、教室で石鹸を泡立ててから洗面で洗い流すようにしています。トイレに入った後の手洗いも重要です。多くの数のソープディスペンサーは、手洗いの効果を高めてくれます。

学校は、多くの地域の方々に支えられています。分散登校、時差登下校など、時間変更や見守り時間が長くなった中でも「見守り隊」の方々が子どもたちの登下校の安全のために活動してくださっています。臨時休校中から、野菜や稲の学習に教職員をサポートしていただいた栗原さん、出川さんは、その後の子どもたちの学びを深めていくきっかけと安心感をくださっています。これからも、学校は、地域の方々と密接につながりながら、子どもたちの生きる力を育てていきたいと思ひます。

自動泡式ソープディスペンサー



非接触型温度計

荒川製作所、株式会社オウミ、新明工芸株式会社、ガデリウス・インダストリー株式会社、中華鈴蘭、株式会社シーアンドディーアソシエイツ、東急バス株式会社 東山田営業所、有限会社動夢計画、有限会社廣杉精機、株式会社フジプロテック、有限会社ホロンケミカル、ヤマト運輸株式会社 東山田営業所、株式会社ワイ・エム・ディー、株式会社アルバートリック、株式会社丸八 横浜第一工場、美里橋サークル、株式会社スリーハイ

【17企業の皆様】



職員室前の
ビオトープに
ハスの花が7/1